

造血器 WHO 分類改訂第 4 版 訳出方針

総論的事項

1. 専門外の日本人になるべく理解可能な訳語とした。専門家が邦語訳を使って議論することは少ないと想定され、かつ、非専門家はその語を書いたり読み上げたりする機会は乏しいと思われる。したがって、診療現場における使用を強制する意図はなく、専門家が「公的な」書類作成等のために用語の基準を参照する場合等を想定し、また、それを見た非専門家が字面で原義を理解できることを優先した。
2. 逐語訳を原則とした。ただし、既に慣用されている訳、不自然な訳、紛らわしい訳、などについてはその限りとはしなかった。
3. 同義語を設定している日本医学会医学用語辞典に倣い、一語に定めがたいものについては、適宜、訳語に対する同義語を設定した。

各論的事項

1. 後ろから限定・修飾している語句について、原則として、「,」は「・」として後に来る語句の訳語を後置、「with」は「を伴う」とし後に来る語句の訳語を前置、「of」は翻訳せず後に来る語句の訳語を前置とした。ただし、「,」は後に来る語句の訳語を前置する形も同義語とした。
2. 原語が形容詞形である訳語の語尾には「性」をつけ、原語が形容詞形でない語の形容詞的用法の訳語は名詞形とした。「型」は原則として -type の訳語とした。ただし以下に関しては例外とした。
 1. 中型、小型、分類不能型、豊富型、中間的など。
 2. Large は large cell とともに大細胞型とした。
 3. Mature は形容詞であるが、名詞形の成熟とした。
 4. 肉眼的解剖学的部位に関しては、形容詞形であっても「性」をつけず名詞のままとした。
 5. 固有名詞はそのままとした（例：濾胞性樹状細胞とはせず濾胞樹状細胞、小型リンパ球とはせず小リンパ球）。
 6. PTLD の前に病名が来る場合は型とした
 7. 古典的ホジキンリンパ腫における各型。
3. Primary は non-secondary の意味であり、原発巣を指示するのみではなく、他の疾患や病型からの移行、合併症、転移などではない、ことをも表現していると考えられることから「原発性」とし文頭に置いた。しかしながら、原発巣指示の意味あい最もあり、検索のしやすさ、他の類似する病型名との混同の可能性、なども指摘されたため、臓器名を前にし「原発」とする訳も同義訳とした。